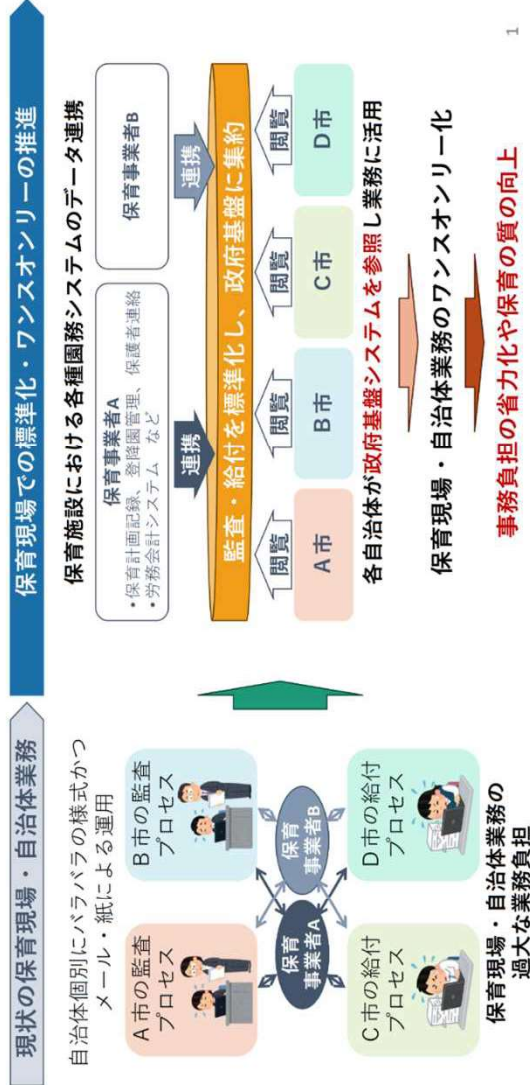


家庭にも

張

- 保育施設においては、ICT導入は限定的で、**手書きやアナログの業務が存続**。給付、監査等の場面で、多くの書類作成が必要であり、保育士等の**事務負担が大い**。
※自治体によって様式が異なるため、複数の自治体に施設を持つ事業者にとって大きな負担となっている。
- 自治体においても、多くの書類の**管理や煩雑な審査が必要**であり、担当者の**事務負担が大い**。
※給付担当、監査担当等の自治体内の複数部署で類似の書類を収集しており、共通化が図られていない。

保育現場でのワンストップの実現



張

保育業務のワンストップ・実現に向けた基盤整備

- ◆ **令和7年度中に100%を目指し保育所等のICT導入や業務支援アプリの活用を推進。**
※令和5年度補正予算においても、ICT化推進等補助金の補助率を嵩上げするなど一部拡充。
- ◆ **保育業務のワンスオンリー実現に向けて、給付・監査等の業務の標準化を進めるとともに、保育施設や自治体の業務システムと連携した施設管理プラットフォームを整備し、令和8年度以降全国展開。**
※国がガバメントクラウド上で稼働する共通システムを整備し、各自治体はそれを利用することを想定。
- ◆ **保育施設の業務支援アプリから施設管理プラットフォームにオンライン提出された情報を、自治体の業務システムに自動的に取り込み機械的に処理することで、業務を効率化。**
※自治体の業務システムについては、認定・利用調整と給付の2業務について標準化を推進中。
- ◆ **デジタル交付金TYPE Sを活用して保育業務のワンスオンリーを試行。**

果效

- 保育業務の効率化により、保育士等の事務負担を軽減し、こどもと向き合う時間を確保。保育施設における人材確保や働き続けやすい職場づくりを支援。
- 自治体担当者の事務負担を軽減し、保育の質の向上に関わる業務に注力。
- 保育ICTの危険を知らせる機能により、保育の安全性を向上。

プロジェクト	マイルストーン			
	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度～
保育業務のワンストップ 実現に向けた基盤整備	<p>給付・監査等の 各種業務の実勢把握</p>	<p>業務ローヤータートの 標準化の検討</p>	<p>給付・監査等に係る 様式・通知等の見直し</p>	<p>保育現場DXによる 給付・監査等の運用開始</p>
	<p>給付・監査等に係る 施設管理プラットフォーム検討</p>		<p>施設管理プラットフォームの 仕様の検討、予算要求 の整備、試行運用</p>	